

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025 年 4 月 5 日				
ずっと						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	・休日には屋外での活動を取り入れている。 ・利用人数に応じて小・中高生でフロア分けも実施している。	利用人数によっては活動スペースが狭くなっている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	・保育士や理学療法士など専門職を多く配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	・作業棚には写真カードを設置し、もの場所を明確にしている。 ・スケジュールボードの設置、ルールの掲示など視覚的ツールを重視している。	・滑りやすい場所があるため、雨天時の対策が必要。 ・玄関の段差は職員が見守りを徹底するなどの配慮が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	・活動スペースと余暇スペースをわけている。 ・毎日アルコール消毒を行っている。 ・車輦は週1回、洗車及び車内清掃を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	・個室が2つある。着替えやクールダウン、集中して遊びたい時や学習したい時など希望に沿って使用出来るようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	日々の申し送りや月1回の職員会議やケース会議で気になった点は意見を出し合い、業務改善が出来ている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	ご意見をもとにすぐに改善できる事は取り組み、時間を要するものは来年度に向けて検討を行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・朝礼や終礼で行い、LINEで情報共有を行っている。 ・気になった点はいつでも報告出来る環境がある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	9		第三者評価は行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	・定期的に研修が行われている。 ・報告書を作成し、研修に参加できなかった職員も情報共有できるようにしている。 ・実践研修やオンライン研修も実施。	eラーニング研修の運用方法
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	・ホームページやHUGアプリで公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	初回の聞き取り時より変更点がないか定期的に確認を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・課題が生じた際にはその都度話し合いを行い、支援方法の検討を行っている。 ・個別支援会議を実施し、さまざまな職員の意見を取り入れている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	・計画作成にあたっての書類はすべて回覧している。 ・HUGアプリに支援目標が常に表示されている。	非常勤職員への支援計画の変更の周知が遅れるため、情報共有方法の見直し。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	・パニックや気持ちの波を図るために個別の確認表も準備している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	2	・大きなイベントについては職員会議で内容の話し合いを行っている。	活動予定は一部職員で決めてしまっているの で複数人で決定していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・月の中では殆ど同じ活動にならないほどの 活動種類を設けている。 ・利用曜日を見ながら、同じ系統の活動にな らないようにも確認している。 ・同じ活動でもルールの変更や季節やイベン トにちなんだ内容へ変更も行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放 課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	・個別療育として一人ひとりのニーズや課題 に応じた作業や学習課題の提供、理学療法士 とのトレーニングを実施している。 ・集団活動ではコミュニケーションや集団で のルールをメインに放課後は1回、休日は2回 実施している。	理学療法士による専門的な個別活動の実施時 間を増やす。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	9	0	・朝礼で支援の進め方など話している。 ・集団活動の担当は活動フロアに掲示してい る。	・長期休暇の朝礼方法。 ・役割を固定せず、役割を交代制にする。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	・終礼で話している。 ・休みの職員にも共有すべき内容はLINEでの 申し送りを徹底している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に つなげているか。	9	0	・専用のシステムに詳細に記録を残してい る。 ・個別支援計画書の目標の振り返りも利用時 は必ず行っており、支援の振り返りに活用し ている。	記録を記入する職員が個別支援計画書の中身 をしっかりと把握する。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	・モニタリングだけでなく、会議で知り得た 情報を計画書の見直しに繋ぎ込んでいる。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組 み合わせて支援を行っているか。	9	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決 定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	・選択が難しい場合でも写真カード等を用い て2択から選んでもらっている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	・児童発達支援管理責任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時 刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡） を適切に行っているか。	9	0	・送迎時に直接伺ったり、学校ホームペー ジやFAX、保護者の方を通して情報共有出来て いる。 ・送迎時の対応について気になる点があった 際には代表取締役が電話や直接確認を行って いる。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支 援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0	・利用開始前の会議への参加や見学をさせ てもらっている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所 等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等して いるか。	1	8		・今年度、卒業生なし。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	6		・体制を整えられていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動す る機会があるか。	9	0	地域の小学生を対象としたゴミ拾いイベン トに参加した。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	1	基幹相談支援センター主催の子供部会に参加 している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や 課題について共通理解を持っているか。	9	0	送迎時に当日の様子をお伝えしている。特に 頑張った事や出来た事、普段とは違う様子は 具体的にHUGアプリでもお伝えしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログ ラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機 会や情報提供等を行っているか。	4	5	相談事があれば、具体的な情報提供や支援 ツールの提供は行っている。	・研修の実施は出来ていないので今後検討し ていく。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	モニタリングやお話をする機会があればその都度確認を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	アプリでいつでも確認できるようになっており、変更点も伝えている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	相談を受け、必要な情報提供や面談を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	1	開所初年度ということもあり、気軽に参加できるお祭りイベントを開催した。ご本人や保護者の方だけでなく、きょうだいにも参加していただくことが出来た。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	・マニュアルを整備している。 ・ご要望があれば、必ず共有し、可能な対応方法を検討している。	担当者や解決責任者については契約時に伝えているものの、対応体制について周知できていないのでホームページ等での公表を検討する。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	・ホームページやHUGアプリで活動報告（月2回程度）をしている。 ・公式LINEにて行事予定や災害時の対応（開所の判断基準など）を伝えている。	行事予定の情報発信が直近ではできていないので、余裕を持ってご案内する。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	・同意書の一覧表を作成しており、ホームページなどに写真を使う際にはチェックを行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	・絵カードでの選択や個別のスケジュール表など伝わりやすい方法を複数準備している。 ・保護者の方にも口頭や文章でのやりとりなど状況に応じて伝達手段を決めている。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7		敷地の広さの関係もあり、将来的に検討していく。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	・マニュアルを策定し、回覧している。 ・訓練も実施出来ている。	・保護者の方への周知方法。 ・訓練計画の中身の見直し。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1	・計画は策定している。 ・避難訓練2回、救命救急1回実施し、振り返りも行っている。	全職員が計画内容を理解するために勉強会の機会を設ける。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	1	・服薬やてんかんについてはアセスメントに記載。変更点があれば、すぐに周知している。	非常時にすぐに対応できるような一覧表の作成。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	・アレルギーについては利用時に「アレルギーあり」で常に表示されている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1		・研修内容すべてが周知できていないので周知方法の検討。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	・報告書の作成の呼びかけを定期的に行っている。 ・朝礼や終礼、職員会議で検討し、再発防止について決めた内容についてはすぐにLINEにて情報共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0		